

精華園だより

支える心とおもいやり

AKOSEIKAEN NEWS

令和5(2023)年

vol.107

7月発行



成人支援第一課通所生活介護 作品

いあろわし



赤穂精華園長 **志水 満**

5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法の分類が2類相当から5類に変更され、季節性インフルエンザと同じになりました。世の中の雰囲気は、約3年ぶりに以前の生活に戻る期待感で一気に明るくなった様です。「いきたくないところに行く」「やりたいことをやる」ことが、人間にとってかけがえのない大切なことだと思い知らされた年月でした。

また、今回のコロナ禍では、当園の職員が感染、濃厚接触者になるなどして勤務できなくなり、必要な職員数を配置できない部署が生じることがありました。当該部署の職員の献身的な勤務に加えて、園内の他部署の職員が一時的に応援に入る、法人内の他施設から応援職員の派遣を受けるなどの協力体制により乗り越えられたことは、利用者様の健康や安全、生活を守るといふ福祉施設の原点を再認識する貴重な体験となりました。

さて、当園においても、久しぶりにご家族との面会や外出行事に参加された利用者様が、嬉しそうにされている場面を見かけることが増えています。いまだに感染拡大の大波が到来する不安要素はありますが、マスクの着用や抗原検査の活用、希望される利用者様へのワクチン接種などの基本的な感染予防対策を行いながら、ご家族との交流行事や社会参加の機会を拡充していきたいと考えています。ご家族の皆様には、もうしばらく事前に連絡をいただいた上で面会等を行っていただければと思いますので、よろしく願います。

令和4年度 赤穂精華園決算報告

(単位：円)

	収 入		支 出	
	勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
事業活動による収支	児童福祉事業収入	171,479,636	人件費支出	808,737,143
	障害福祉サービス等事業収入	1,191,521,091	事業費支出	214,140,728
	受託事業等収入	24,627,065	事務費支出	112,947,028
	経常経費補助金収入	16,927,428	就労支援事業支出	29,117,351
	経常経費寄付金収入	400,000	その他の支出	749,873
	過年度収入	683,987	流動資金評価損等による資金減少額	0
	その他の収入	1,492,192		
	受取利息配当金収入	3		
	就労支援事業収入	28,992,036		
事業活動収入計	1,436,123,438	事業活動支出計	1,165,692,123	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	0	固定資産取得支出	6,231,893
	固定資産売却収入	200,000		
	施設整備等収入計	200,000	施設整備等支出計	6,231,893
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	2,570,000	積立資産支出	101,095,000
	拠点区分間繰入金収入	2,545,000	拠点区分間繰入金支出	160,174,000
	その他の活動収入計	5,115,000	その他の活動支出計	261,269,000
	収入計	1,441,438,438	支出計	1,433,193,016
			当期資金収支差額	8,245,422
			前期末支払資金残高	70,917,648
			当期末資金収支差額	79,163,070

国立療養所長島愛生園に学ぶ

次長兼成人支援第三課長 西村 学

赤穂から1時間弱、岡山県の瀬戸内海に浮かぶ美しい島。しかしここには1930年代よりハンセン（らい）病の隔離政策によって全国から患者が収容させられ、以後長年に渡って根強い偏見と差別を受けてきました。最盛期には約3,000名、そして今なお約90名の方々が島内で暮らされていますが、その多くはお骨すら帰郷できぬままとなっています。平均年齢は88歳、病気自体は早期に全員が治癒されており、現在は「ハンセン病の後遺症のある障がい者」が正しい呼び方であると聞いています。

1988年に長島と本土を結ぶ橋が架けられ、「人間回復の橋」と呼ばれています。1996年に「らい予防法」が廃止、そして2019年には国が責任を認め、ハンセン病問題には一区切りつきましたが、ここに至るまであまりにも遠い道のりでした。

今年度赤穂精華園では、職員の虐待防止及び人権啓発研修の目的で5月30日に長島愛生園を10名で訪問し、学芸員の方の案内で歴史館や当時のまま残る施設を拝見し、正しい理解や後世に継承すべき非常に多くのことを学ばせていただきました。

今回だけに限らず、再度の訪問や学芸員の方を赤穂精華園に派遣していただいての職場内研修も予定しています。これらを通してあらゆる方々の人権や尊厳を見つめ直し、より丁寧な支援を心がけて参りたいと思います。



令和5年度 赤穂精華園事業目標

児童寮

ソーシャルワーカーを専任で配置して、退所後の地域移行（卒業後の進路選択）の調整を関係機関ときめ細かく行います。また、ユニットケアの特長を活かした小規模グループケアを通じて、できるだけ家庭的で細やかな支援を推進します。

成人寮

利用者様の重度化・高齢化への対応を継続するとともに、強度行動障害に関する研修受講による人材育成、虐待防止研修の強化に取り組めます。また、日中活動の充実、個別支援の充実を目指します。

やまびこ寮

パン・洋菓子の移動販売先や常設箇所の拡充を図ると共に、より収益性の高い作業種目の導入を進め、B型事業の工賃向上に取り組めます。

地域支援

障害のある方が地域で安心して生活できるよう、暮らしと仕事のサポートを行うとともに、各種福祉サービスを提供していきます。

児童支援課

GWの様子

GWに児童寮西棟では、鯉のぼりを製作しました。鯉のぼりに利用者様の好きな色の絵の具やクレヨンで描きました。かっこいい鯉のぼりに可愛い鯉のぼり。どの鯉のぼりもとても素敵に仕上がりました。完成した鯉のぼりを見て、皆さんとても嬉しそうなお表情になりました。

児童寮東棟では、大津公園へ散策に行きました。道中では、利用者様同士で楽しくおしゃべりしながら行きました。広い公園で思いつき走り回り、利用者様の笑顔がたくさん見ることができました。休憩時間は皆で楽しくおやつを食べました。

コロナが5類となりましたが、感染対策を行いつつ、利用者様が楽しく過ごせるような支援を続けていきたいと思えます。



成人支援第一課

アイスクリーム会

蒸し蒸しとした梅雨の時期から9月頃まで月に1度「Noon」のアイスクリームでアイスクリーム会を行います。

前日からワクワクとした様子の利用者様を見ることができました。

暑い夏を元気に乗り越える利用者様の素敵な笑顔を見ていきたいです。



スポーツ交流会に参加しました

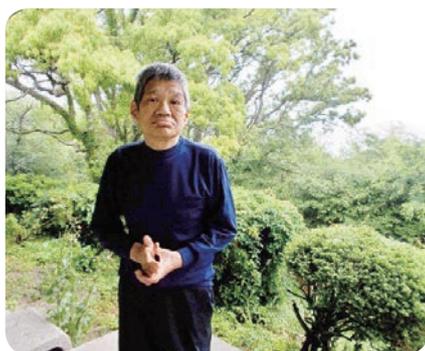
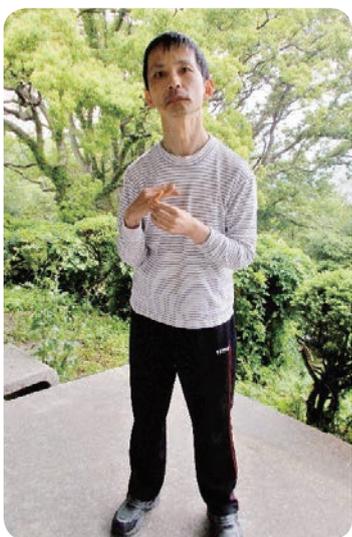
5月の月末にばんたん親善運動会とのじぎくスポーツ大会へ参加しました。ばんたん親善運動会では、玉入れを含む様々な競技に参加しました。のじぎくスポーツ大会では、フライングディスクに出場しました。競技内容は、設置された輪の中にどれだけ入れることができるか競われ、一定数入れる事ができた方にはメダルが贈呈されました。参加された利用者様に感想を聞いたところ、「楽しかった」「メダルを取れて嬉しかった」、「メダルを取れなかったから来年も挑戦し

成人支援第二課

ドライブ外出

しばらくコロナ禍で自粛となっていたドライブ外出に出かけました。

行先は赤穂御崎です。当日の天候はあいにく雨でしたが、久しぶりの外出で利用者様は、車窓から見える街並みを眺めながら穏やかな表情を見せておられました。途中、コンビニでお菓子と飲み物を購入し赤穂御崎に着。残念ながら瀬戸内海の景色は雲の下で見えませんが、好きなジュースを飲んでお菓子を食べてよい気分転換になりました。



成人支援第三課

アイスクリームで ひんやり涼しく

6月に関西電力労働組合様のボランティアのご協力でキッチンカーを呼んでいただき、おいしいアイスクリームを食べました。目の前でアイスクリームが作られる様子を観ることは珍しい経験で利用者様もとても嬉しそうでした。「チヨ」がええなあ」「和風セットがいい」とトッピングやソースを選ぶことを楽しませていました。いよいよ夏本番。厳しい暑さもアイスクリームを食べて乗り越えましょつ。



たい、「お弁当が美味しかった」と楽しそうに話されていました。



女性棟お楽しみ会

5月19日にお楽しみ会を行いました。2チームの対抗戦で、どちらが早くビーチボールを往復させることができるか競争しました。2戦行い、わずかの差だったので引き分けとなりました。笑顔で参加されている利用者様が多かったです。後から、「面白かったです。またしよな」とおっしゃられた利用者様もいらっしゃいました。今後も、利用者様に楽しんで頂けることを行っていききたいと思います。



地域支援

就職に向けて 応援しています

4月17日に赤穂特別支援学校にて、来年度の就職に向けての進路相談会を行いました。今回は3名の相談がありました。その中でも現在児童寮にて頑張っておられるSさん。高校1年から実際の職場での実習に取り組んでおられました。市内での料理店、食品加工の製造工場、さらには洗車などさまざまな経験を積まれました。そしていよいよ本格的な就職に向けて、市内量販店で実習が開始します。

そんなSさんの目標は一人暮らし、そして大きな夢は漫画家！

夢の実現に向けての歩みはスタートしたばかり。私たち地域支援室内「西播磨障害者就業・生活支援センター」もSさんの目標達成に向けて、全力でサポートをしていきたいと思えます。



Sさん

転入・新規職員紹介

児童支援課

奥山 仁美 課長



4月より赤穂精華園児童寮で勤務することになりました。初めてのことに不安な気持ちでしたが、利用者様と一緒に楽しく日々を過ごしたいと思っています。その気持ちをもって、利用者様にも楽しく充実した日々を送っていただけのように支援していきたいです。宜しくお願いします。

赤江 千尋



4月から赤穂精華園で勤務させて頂くことになりました。初めてのことで戸惑いや不安も多々ありますが、利用者様の笑顔や楽しいような表情を見る度に喜びを感じます。勉強の毎日ですが、先輩方のような関わり方、支援の方法を学び、利用者様と一緒に成長していきたい。利用者様の心からの笑顔を引き出せるような支援をしていきたいです。よろしくお願い致します。

山本 教嗣



今年の4月から新規職員となりました。福祉の仕事は初めてで、分からない事だらけですが日課を早く覚えて日々の関わりの中で、一人一人の個性を把握し個性にあった関わりが出来る支援員になれるように、日々先輩職員の方々のアドバイスを真摯に受け入れて頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

成人支援第一課

上林 大斗



令和5年4月1日より赤穂精華園に配属となりました。上林大斗です。趣味は美味しいものを食べることで、働き始めてからは自分でも美味いものを作れるようにと、初めての自炊にも挑戦しています。新卒ということもあり、福祉現場で働くのは初めてですが、支援員として利用者様が気持ちよく生活できるように支援していきますので、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

中原 涼太



今年の4月から支援員として働き始めて、もう2か月が経ちました。まだまだ分からないことも多いですが、利用者様との関わりを増やしていく中で、一人ひとりの個性を把握しより良い支援が出来るように頑張りたいです。不慣れな点もありますが先輩方からの指導の下、気を抜かず業務に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

表谷 志真子



はじめまして、表谷志真子です。私は赤穂生まれの赤穂育ちです。子供の頃からよく聞いていました。こちらで働けることになって嬉しそうです。よろしくお願いたします。

岡崎 明菜



今まで、自分自身が考えてきた事や感じてきた事、利用者様への思いを振り返りながら支援に向き合っていました。利用者様だけではなく、私の周りが笑顔になれるような支援員を目指しています。まだまだ未熟者ですがこれからも精一杯楽しんでいきたいと思っております。宜しくお願い致します。

奥藤 瑞希



奥藤瑞希と申します。大学で4年間福祉を学んでいたため、その知識や経験が少しでも活かすことができればと考えています。初めてのことが多くあり、戸惑うこともありますが少しずつ成長していきたいと思っております。これから日々の学びを大切に、より良い支援ができるよう努めていきたいです。何卒、よろしくお願い致します。

仁保 智晶



令和5年4月から入職しました仁保智晶と申します。私は、高校と福祉を学んできました。自分自身まだまだ未熟だらけな人間ですが、全力で頑張っていきたいと思います。温かい目で見守って頂くと幸いです。今後とも、利用者様の笑顔を一番に支援していきますのでよろしくお願い致します。

人の動き

退職者

- 河部絵梨果 支援員 児童支援課
- 板倉 涼香 支援員 成人支援第一課
- 山下 恵子 支援員 成人支援第一課
- 木下 久美 看護師 成人支援第一課

転出者

- 古賀 功一 次長兼児童支援課長 三木精愛園へ
- 茶谷 健介 成人支援第二課長 小野起生園へ
- 名倉 幾子 支援員 三木精愛園へ
- 吉田 憲吾 支援員 総合リハへ
- 辻 高広 支援員 三木精愛園へ
- 稲合 綾子 看護師 朝陽ヶ丘荘へ

転入者

- 奥山 仁美 児童支援課長 児童支援課長
- 藤永 幸正 成人支援第二課長 成人支援第二課
- 前田 健吾 支援員 成人支援第一課
- 箱根 洋介 支援員 成人支援第一課

採用者

- 〈総合職員〉
 - 上林 大斗 支援員 成人支援第一課
 - 中原 涼太 支援員 成人支援第一課
 - 川岸 博典 支援員 成人支援第一課
 - 前淵 優花 支援員 成人支援第一課
 - 田坂 裕喜 支援員 成人支援第二課
 - 表谷志真子 看護師 成人支援第一課
 - 野山美由紀 看護師 成人支援第二課
- 〈一般職員〉
 - 赤江 千尋 支援員 児童支援課
 - 山本 教嗣 支援員 児童支援課
 - 岡崎 明菜 支援員 成人支援第一課
 - 奥藤 瑞希 支援員 成人支援第一課
 - 川口 聡詞 支援員 成人支援第一課

〈契約職員Ⅰ〉

- 仁保 智晶 支援員 成人支援第一課
- 山下 恵子 支援員 課長(地域支援担当)付

〈契約職員Ⅱ〉

- 足立 龍平 支援員 成人支援第一課
- 岸川 采恵 支援員 成人支援第一課
- 川原 一代 世話人 課長(地域支援担当)付
- 岸川 恵理 世話人 課長(地域支援担当)付
- 小林 妙美 世話人 課長(地域支援担当)付

成人支援第二課

藤永 幸正 課長



赤穂精華園に9年ぶりに戻ってまいりました。懐かしい気持ちでいっぱいです。

利用者様一人ひとりと向き合い、心あたたかい支援を目指してチーム一丸で頑張ります。よろしくお願ひします。

前淵 優花



初めまして、今年度から新たに配属されました前淵優花です。初めは慣れない業務に上手く対応できず、そんな自分が悔しいと感じる毎日でした。落ち込むこともありましたが、利用者様の笑顔や、いつも「おはよう」「さよなら」と元気よく挨拶して下さる姿に沢山励まされました。今後は、利用者様の気持ちに寄り添った支援を行い、良き理解者になれたらと思います。

箱根 洋介



はじめまして。この度は縁がありまして赤穂精華園に赴任しました。箱根と申します。

趣味は山歩きで、気候が良い日は皆様と季節を感じながら散歩がしたいです。まだまだ不慣れな点も多いですが、今後ともよろしくお願ひします。

川岸 博典



この度、出石精和園より赴任しました川岸です。初めは上手く支援できるか不安でしたが、棟内外の先輩

職員の皆様が丁寧に指導して頂いたおかげでなんとか仕事が出来ています。これからも利用者様が安心安全に過ごせるよう支援してまいりますのでどうぞよろしくお願ひします。

前田 健吾



この度、あわじ荘から転勤いたしました。不慣れな事もありしばらく皆様にご迷惑をお掛けすると思ひますが、少しでも早くお役に立てるよう努めていきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

6月より新規職員として勤務しております。福祉に携わった事がなく、社会人1年目だから分からないことが多いので毎日が勉強の日々です。先輩方と業務していくうちに少しずつ仕事にも慣れてきました。業務を通して利用者様により良い生活を送っていただけるよう努力してまいります。

川口 聡詞



6月より新規職員として勤務しております。福祉に携わった事がなく、社会人1年目だから分からないことが多いので毎日が勉強の日々です。先輩方と業務していくうちに少しずつ仕事にも慣れてきました。業務を通して利用者様により良い生活を送っていただけるよう努力してまいります。

成人支援第三課

田坂 裕喜



4月より、3課やまびご寮で勤務しております。田坂裕喜と申します。3月まで、たつの市のふれあい

スポーツ交流館で障害者スポーツを中心に勤務してきました。少しずつ利用者様と関わりを持つことが出来ていると感じています。先輩職員方との「チーム支援」を自分のキーワードにして、利用者様に充実した支援を提供出来るように頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

野山 美由紀



はじめまして。成人三課、地域支援担当になりました。野山美由紀です。赤穂精華園では、利用者様一人

ひとりの特性を理解し、利用者様の気持ちに寄り添う看護を提供したいと思ひます。施設での業務経験がなく、至らない点があるかと思ひますが、一日でも早く仕事を覚え、力になれるよう精一杯がんばります。ご指導よろしくお願ひいたします。



公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金贈呈式



兵庫県社会福祉事業団では、「管理栄養士・栄養士連絡会障害児者部会」において様々な食育に取り組んでいます。このたび『字が読めない利用児者も楽しめる衛生面に配慮した「食育かるた」の作成と普及』を目的に助成金事業へ応募させていただきましたところ、この活動が採択され、助成金の贈呈が決定し、令和5年5月31日に助成金贈呈式が執り行われました。現在「食育かるた」は、作成準備中で年内に完成予定です。当事業団内の障害児者施設や特別支援学校等にも提供させていただく予定です。公益財団法人ヤマト福祉財団様ありがとうございました。

医務室からのお知らせ



長年、中田歯科でお世話になっておりましたが3月に閉院されました。

4月から、しばおかデンタルクリニックにお世話になっております。

3月には柴岡先生にお越し頂き、利用者様のお口の中を見て頂きました。

利用者様はドキドキワクワクしながら初対面の先生に少し緊張されて診察を受けておられましたが、とてもスムーズに診て頂くことが出来ました。

随時治療やブラッシングに行かせて頂く予定です。

新生「honoka」のご案内

4月より赤穂精華園やまびこ寮内の洋菓子工房で製造し、ラッピングカーと新規常設箇所を中心に販売を行っております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

ご予約、
お問い合わせは
こちらまで。

電話 (0791) 56-9660 (直通)

FAX (0791) 56-9661 (直通)



ベルマークを集めています

現在、児童寮ではベルマークを集めています。

ベルマーク運動とは「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」という願いのもと始まったボランティア活動です。活動で生み出された資金（ベルマーク預金）で設備や教材をそろえ、ハンディを背負いながら学んでいる子どもたちへの援助となります。ベルマークを財団に送付することによって1点につき1円のベルマーク預金となります。ご家庭にベルマークはございませんか？ご存じのベルマーク以外にも純正品のインク・トナーカートリッジなども収集の対象となっています。皆様のお気持ちをお待ちしています。

編集後記

新型コロナの感染症法上の位置づけが、5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。園でも利用者様の外出や面会制限の緩和が行われました。3年を超える期間、利用者様やご家族、職員ともに様々な困難を強いられてきたことと思います。今号は外出活動の記事を掲載することができました。できるだけ早く以前の生活に戻れるよう職員一同努力していきますのでよろしくお願いいたします。

編集委員一同



職員募集

一緒に働いてみませんか？



赤穂精華園では、利用者様の生活をさらに充実したものにすため、生活支援員を募集しています!!

募集職種

①常勤支援員(契約職職員(I))

成人寮における早出・遅出・夜勤のローテーション勤務

②パート支援員(契約職職員(II))

児童寮・成人寮・やまびこ寮における支援業務

勤務日数(週3~5日)及び勤務時間等は配属により異なりますので、お気軽にお問い合わせ下さい

知り合いの方が仕事を探している、福祉の仕事に興味がある等ございましたら、まずは下記までお電話ください。業務内容等説明させていただきます。

お問い合わせ先

☎0791-43-2091【担当:梅田/前田】